

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 26日

事業所名 放課後等デイサービスHOORAY 岩国 保護者等数(児童数) 20(21) 回収数 14 割合 70%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	70%	15%		15%		配置人数は順当。 専門性について、研修により 支援員のレベル底上げを図る。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	70%	15%		15%		玄関入口のスロープと手すり。 トイレ設備にも同様。 部屋間の移動についても段差なし。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	92%	8%				児発管が支援員からの気付き点を抽出してからのモニタリング。 結果について、 ラインワークスにて共有。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100%					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	21%	30%	14%	35%		現状、機会をもっていない。 施設間の情報共有体制づくりが課題。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92%	8%				説明はしている。該当事項の定期的な すり合わせが課題。 主にはモニタリング時に説明していく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	92%	8%				場合による。送迎時の支援員による 保護者とのコミュニケーションの質と 頻度を高めることが課題。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	85%			15%		年に2回の保護者会、月1回の開放日 で施設見学や支援員との対話をする 機会を設けている。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	85%			15%		電話・メール・責任者による 直接訪問など、緊急時における 体制づくりは行っている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%			8%		場合による。送迎時の支援員による 保護者とのコミュニケーションの質と 頻度を高めることが課題。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	92%			8%		事業所独自の会報はないが、情報に ついては公開している。 インスタグラムにて当施設の取り組み 内容についての発信を開始している。 これを評価ツールとしても利用する。
14 個人情報に十分注意しているか	85%			15%		新旧問わず、全支援員に 周知・徹底をさせている。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	78%	14%		8%		施設事務所内には見える場所に、 各項目について明文化したものを 掲示している。 保護者への周知については未実施。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	86%	7%		7%		月間活動において災害等への啓発を 盛り込んでいる月間を設けている。 避難訓練において、経路や避難場所を 実際に移動することにより伝えている。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	100%					
	18 事業所の支援に満足しているか	100%					

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。